

ワニの化石の モニュメント

1 マチカネワニ化石発掘地点 (待兼山町)

大阪大学豊中キャンパスを歩くと、理学研究科本館西側にモニュメントが。これは、昭和39年(1964)に新校舎建設工事中にマチカネワニの化石が発見されたことを記念して作られたものです。

(関連記事4ページ)



ボウのふるけとを
散策してみてね



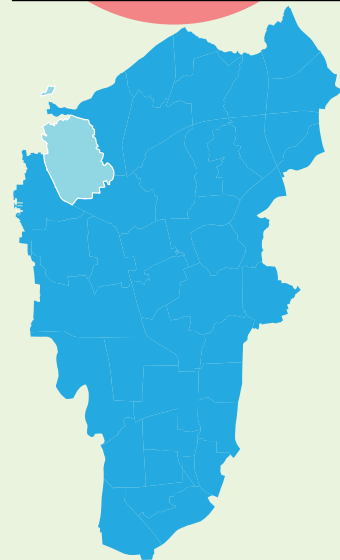
マチカネくんと歩く

まちある記

第25回

日本で初めてワニの化石を発見
石橋麻田町から待兼山町、刀根山へ

刀根山小学校区



平安時代の和歌にでてくる待兼山や豊かな自然が残る刀根山などがあり、起伏の多い地域です。また、飛び地である石橋麻田町もこの校区にあります。



3 中国縦貫自動車道

刀根山元町

弘法大師ゆかりの井戸

2 北谷の井戸(待兼山町)

この辺りは川に接していない丘陵地だったため、住人は飲み水に困っていました。そんな折、この地を訪れた弘法大師が杖で正方形を描いて清水が湧き出す場所を教えたという伝説が、今でも井戸とともに残っています。



弘法大師の杖で
描かれた正方形の井戸



信長の刀根山城

3 常楽寺(刀根山元町)

全国統一に乗り出した織田信長が、自分に背いた伊丹城主の荒木村重を討伐するために拠点の一つにした刀根山城がこの場所にあったとされています。

境内の由緒碑では、刀根山城についても触れられている



◎石橋麻田の飛び地

江戸時代、現在の蛍池を中心に広がっていた麻田村の住人が、この地に田畑を所有していたため、豊中市誕生のときに、市域から離れていましたが豊中市の一部となり現在に至ります。

公園で英語のお勉強！?

5 山ヶ池公園
(刀根山6丁目)

鉄棒の柱をよく見ると、鉄柱の形が、A、B、Cの文字。運動しながら楽しく英語のお勉強!



◎まちの安全・安心は自分たちで守る

平成20年から地域の人たちと防災・避難訓練を行っている刀根山・蛍池自治会連合自主防災会(刀根山校区安全・安心の町づくりの会)。平成24年には市内で初めて夜間の被災を想定した「夜間避難施設体験訓練」も行っています。



公園に残る水源地跡

4 第二水源地跡碑(刀根山6丁目)



旧水源地にあった建物

旧麻田村の水源地として深井戸が掘削されたこの場所。市の第二水源地として、昭和52年(1977)まで約6,600人の暮らしを支えていました。刀根山6丁目第2公園の中に水源地の跡碑があります。

◎「野球」の名付け親が眠る

「baseball」を「野球」と最初に訳したとされる中馬庚ちうま かつらが眠るお墓が圓満寺(蛍池東町1丁目)にあります。彼は日本最初の野球の研究書「野球」の著者で、野球の殿堂入りも果たしています。



写真提供(左):公益財団法人 野球殿堂博物館



8月号は島田小学校区をご紹介します。お楽しみに。